

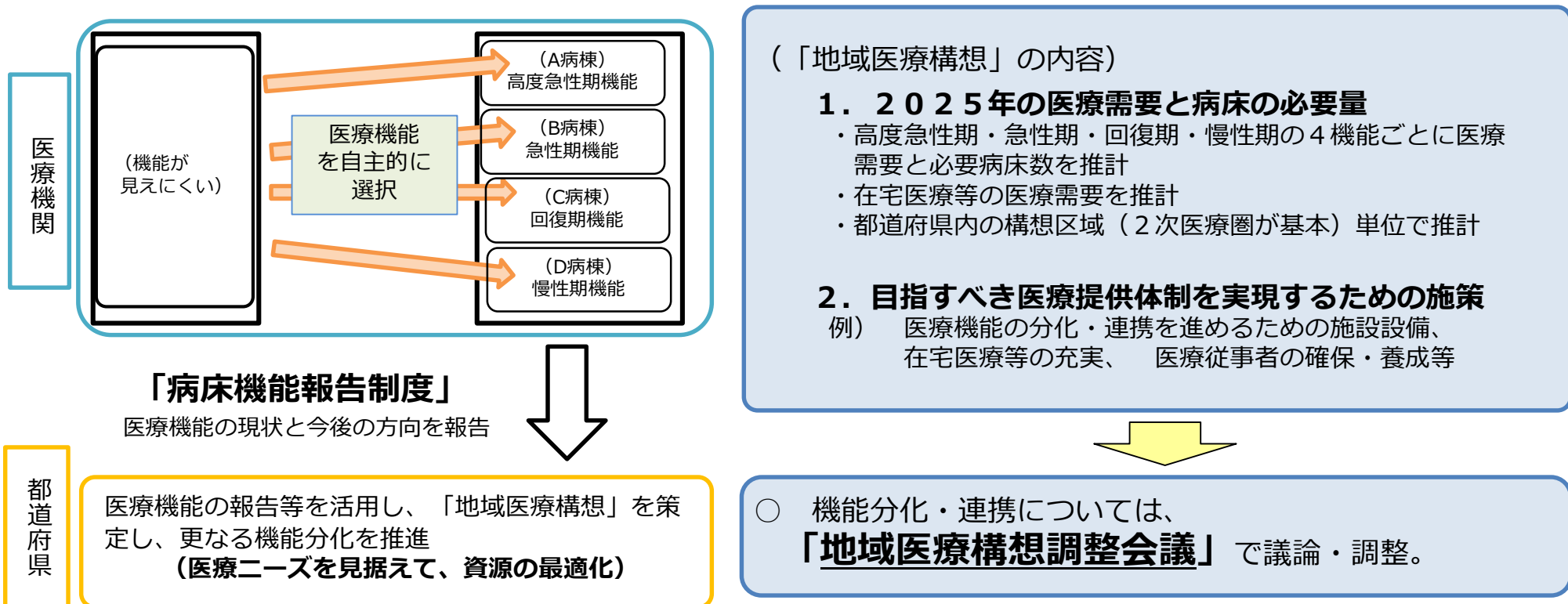
令和 3 年度第 1 回秋田県医療審議会医療計画部会

地域医療構想調整会議の状況について

医務薬事課

地域医療構想について

- 地域医療構想の趣旨は、人口減少に伴い患者も大きく減少し、病院経営に大きな影響を与えることが予想される中で、将来を見据え、いかに医療資源を有効に活用し、効果的な医療提供体制を構築していくかということ。
- 本県では、平成28年10月「秋田県地域医療構想」を策定した。



秋田県地域医療構想調整会議の設置

秋田県地域医療構想調整会議

○ 設置形態

- ・ 構想区域ごとに設置（二次医療圏と同じ8区域）
- ・ 医療連携体制等を検討する場合、**複数地域の会議を合同で開催**することも想定。
- ・ 必要に応じて調整会議の下に「**専門部会**」を設置。
⇒ 個別分野（病床機能の分化・連携、在宅医療等の充実）について、具体的な検討を行う。

○ 協議事項

毎年報告される病床機能報告のデータや構想区域内の医療機関の状況について、情報共有を図りながら、次の事項を協議。

- ① 地域の病院・有床診療所が担うべき病床機能に関する協議
- ② 在宅医療等の充実に関する協議
- ③ 都道府県計画（地域医療介護総合確保基金）に盛り込む事業に関する協議
- ④ その他の地域医療構想の達成の推進に関する協議



これまでの調整会議の状況

平成
30
年度

- 10月～11月 第1回地域医療構想調整会議（8地域）
 - ・ 公立・公的病院等2025プランの説明・協議
 - ・ 地域の医療提供体制における固有課題の認識を共有

(主な意見)

- ・ 当面、病床数を維持するのが、中長期的にはダウンサイズが必要
- ・ 病床数は自然収斂する。病院間の役割、機能調整が必要
- ・ 医師、看護師等の医療従事者、介護人材の確保が困難

- 平成31年1月～3月 第2回地域医療構想調整会議（専門部会 6地域）
 - ・ 医療資源投入量方式による定量的な基準について協議

令和
元
年度

- 7月～8月 第1回地域医療構想調整会議（8地域）
 - ・ 外来医療計画に関する意見聴取
 - ・ 2025年を見据えたダウンサイジングや病床数等に関する報告・協議

(主な意見)

- ・ 人口減少や疾病構造の変化等を踏まえ、病院間の機能分化・連携のほか、ダウンサイジングを伴う病院の建替などの具体的な意見

これまでの調整会議の状況

令和
2
年度

- 7月 第1回地域医療構想調整会議（専門部会）（秋田周辺）
 - ・ 秋田周辺地域におけるPCI実施体制の課題
 - ・ 不足している不整脈治療の拠点整備に係る事業の実施

（協議結果）

分散傾向にある秋田市内のPCI実施体制の課題も踏まえ、6医療機関のうち、PCI治療からアブレーション治療に移行・特化する事業について協議した結果、市立秋田総合で実施することで一定の合意を得た。（12月補正にて予算計上）

【主な意見】

- ・ アブレーション治療は絶対的に不足している
- ・ 患者が減少する中、PCIなどの診療機能の集約化は必要
- ・ 会議で病院の診療機能を決定することが前例となってはならない

など

これまでの調整会議の状況

令和2年度

○12月 第1回地域医療構想調整会議

(能代・山本、秋田周辺、由利本荘・にかほ、湯沢・雄勝)

- ・ 国による新たな病床機能の再編支援
- ・ 病床削減に伴う給付金の給付

(病床削減を行う主な理由)

- ・ 地域の医療需要の減少に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、受診に係る行動変容により、患者減少が続いているため

単位：千円

	削減病床 (急性期)	単価	支給額 (予定)
能代厚生医療センター	63 ×	1,824 =	114,912
秋田厚生医療センター	48 ×	2,052 =	98,496
本荘第一病院	12 ×	2,052 =	24,624
細部眼科	5 ×	1,140 =	5,700
町立羽後病院	38 ×	1,596 =	60,648
※	17 ×	2,280 =	38,760
合計	183		343,140

(参考) 削減 後の病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
329	0	281	48	0
429	6	373	50	0
142	0	102	40	0
4	0	4	0	0
113	0	58	55	0

※ 1日平均実働病床数以下まで削減する場合は、1日平均実働病床数以下の削減病床については2,280千円/床を交付

令和3年度の地域医療構想調整会議の状況（予定）

【主な議題】

- 医療法の一部改正の概要について
 - ・ 医師の働き方改革
(各医療機関における課題など)
 - ・ 次期医療計画で策定する新興感染症への対策
(新型コロナウイルス感染症の対応に係る地域での課題など)
- 将来を見据えた地域の医療提供体制について
 - ・ 県北での地域救命救急センターの整備の見通し
 - ・ 病院の建替に伴う新たな医療機能
 - ・ 単独支援給付金（旧名称：病床削減給付金）を受けようとする医療機関の担う医療機能 など

【開催日】

- 由利本荘・にかほ構想区域：7月19日(月)
- 能代・山本構想区域：8月19日(木)
- 大館・鹿角と北秋田、横手と湯沢・雄勝では合同開催を予定
※地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら開催